

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公表番号】特表 2004-506182 (P2004-506182A)

【公表日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報 2004-008

【出願番号】特願 2002-517211 (P2002-517211)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 35/00

B 0 1 D 53/14

B 0 1 D 53/26

B 0 1 L 3/00

B 6 5 D 51/16

B 6 5 D 51/28

G 0 1 N 35/02

【F I】

G 0 1 N 35/00 C

B 0 1 D 53/14 C

B 0 1 D 53/26 1 0 2

B 0 1 L 3/00

B 6 5 D 51/16 F

B 6 5 D 51/28 Z

G 0 1 N 35/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 2 月 18 日 (2003.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器からの液体の蒸発および / または容器内液体 ( 1 1 ) へのガスとくに二酸化炭素の取込みを減少させるための容器 ( 1 0 ) 用カバー ( 2 0 , 2 0 ) であって、ピペットまたはその他の装置を外部空間から容器内部に挿し込むことのできる少なくとも 1 つの貫通くりぬき孔 ( 2 4 ) を有するとともに水分を放出し、および / またはガスを吸収するような液体を含浸した材料 ( 2 3 ) を含むカバー。 \_\_

【請求項 2】

前記液体は水分を放出すると同時に二酸化炭素を吸収するアルカリ液である請求項 1 記載のカバー。

【請求項 3】

前記材料は外部空間への水分の逃散または外部空間からのガスの吸収が基本的に前記くりぬき孔領域に限定されるようにしてケーシング ( 2 2 ) によって包囲されている請求項 1 記載のカバー。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのくりぬき孔 ( 2 4 , 2 4 , 2 4 ) はカバーの使用前にその端部が塞がれている請求項 1 記載のカバー。 \_\_

【請求項 5】

液体保管システムであって、

容器 ( 1 0 , 1 0 , 1 0 ) と

蒸発および / または容器内液体へのガスとくに二酸化炭素の取込みを減少させるために前記容器に取付けられる、ピペット等を容器内に挿し込むための少なくとも 1 つのくりぬき孔 ( 2 4 , 2 4 , 2 4 ) を有するカバー ( 2 0 , 2 0 ) とを備え、

前記カバーが、水分を放出し、および / またはガスを吸収するような液体を含浸した材料 ( 2 3 ) を含んでいるシステム。 —

【請求項 6】

容器からの液体の蒸発および / またはガスとくに二酸化炭素の取込みを減少させるカバーを備えたシステムであって、

少なくとも 1 個の容器 ( 1 3 0 ) を収容するための貯蔵保管チャンバ ( 1 1 0 ) と、

少なくとも 1 つのくりぬき孔 ( 1 2 1 ) を有するとともに、水分を放出しおよび / またはガスを吸収するような液体を含浸した材料 ( 1 2 3 ) を含むカバー ( 1 2 0 ) とを備え、

貯蔵保管チャンバと外部空間とのあいだのガス交換に際して前記くりぬき孔を通して貫流が生ずるように前記貯蔵保管チャンバに前記カバーが配置され、前記カバーが水分を放出し、および / またはガスを除奪するとともにさらにピペット ( 1 4 0 ) またはその他の装置を少なくとも 1 つのくりぬき孔を通して少なくとも 1 個の容器内に挿し込むことができるように配置されているシステム。

【請求項 7】

前記材料には水分を放出しおよび / または二酸化炭素を吸収する液体が含浸されている請求項 6 記載のシステム。

【請求項 8】

前記材料は外部空間への水分の逃散または外部空間からのガスの吸収が基本的に前記くりぬき孔領域に限定されるように絶縁材によって包囲されている請求項 7 記載のシステム。

—